全国の会計人に聞いた景気動向

■地元経済の見通し

	大幅に改善	緩やかに改善	現状維持	下向き	大幅に悪化
甲・信越	0%	27.3%	45.5%	27.3%	0%
全　国	0%	31.6%	49.6%	17.9%	0.9%

■顧問先の業績動向

	大幅に改善	緩やかに改善	現状維持	下向き	大幅に悪化
甲・信越	0%	30.0%	50.0%	20.0%	0%
全　国	0.8%	35.8%	40.8%	21.7%	0.8%

■中小企業の企業再生で有効な手段・手法ベスト3(地域／全国)
①リストラ(46.7%／25.0%) ②M&A(26.7%／20.7%) ③販路の拡大(20.0%／23.6%)
■情報やスキルの入手先ベスト3(地域／全国)
①新聞(23.5%／21.6%) ②異業種との交流(20.6%／18.8%)、専門誌・紙(20.6%／23.8%)
■関わっている地域活動ベスト3(地域／全国) ①異業種交流(26.3%／48.3%) ②NPO活動(21.1%／16.1%)③TMO等のまちづくりプロジェクト(15.8%／7.6%)、ベンチャー支援(15.8%／11.0%)

ふるさとの元気企業

(株)はあとふるあたご
他社にマネができない介護サービスで急伸!!

来年4月には施行5年目を迎え、抜本的改正が行われる介護保険制度。要介護認定者や給付費の大幅上昇などによって、今後は介護予防に重点が置かれ、また、「施設介護」から「在宅介護」が中心になっていくといわれている。そうしたなか、在宅介護に特化したサービスで急激に伸びているのが、昨年10月に創立した(株)はあとふるあたご(新潟市)だ。

介護サービス事業拡大中の木村淳社長

母体は医療福祉施設。教育機関向け備品販売や保険代理業などを手がける愛宕商事。同商事は98年、介護サービス部門を立ち上げ、ベッドや車椅子といった福祉用具のレンタルを開始。その後、2000年の介護保険制度施行を機に、訪問介護等の在宅サービス事業に手を広げ、昨年分社・独立した。以来、現在までに新潟市はじめ三条市や新津市、五泉市など県内7カ所に拠点を設置。訪問介護・看護、通所介護(デイサービスセンター)、グループホーム福祉用具貸与などのサービスを提供してきた。「在宅介護といえば『はあとふる』にと、安心して任せてもらえるメニューをそろえた」と木村淳社長(44歳)は話す。

施設のお年寄りたちと交流する同社のスタッフ

突出したサービスはリハビリ(機能回復訓練)だ。木村社長によると「毎週、新潟医療福祉大学の教授らにデイサービスセンターへ来てもらい、通常なら医療機関でしか受けられない専門性の高いリハビリを提供している」という。おかげで、他事業所のケアマネージャーからも「リハビリなら『はあとふるあたご』」とお客様を紹介してもらうこともしばしばだとか。

また、新潟県が誇る日本最大級の専門学校グループ「NSGカレッジリーグ」とも連携。同校の学生たちが、施設を訪れ、利用者の似顔絵を描いたり、ネイルアートや化粧を施したり、アニマルセラピーに取り組んだりといったボランティア活動も。

そうした評判が現在、約1300人の利用者を生み、拠点も数年中には20カ所程度まで拡大する予定」と木村社長。年商も、昨年度4億8000万、今年は約8億6000万と強気の目標を掲げている。

課題は優秀な人材の確保。「介護事業はケアに関わるスタッフの質がすべて。これまでは、首都圏の大手同業者に負けないようにハード先行でやってきましたが、今後はスタッフの質を高めながら、高齢化社会をサポートしていきたい」と木村社長は力強く語る。

本社・〒951―8051新潟県新潟市新島町通二ノ町2284／☎025―228―5000／資本金7000万円／年商4億8000万円／従業員180名
http://www.heartfull.jp

会計人の眼　シニア向けのビジネス好調

野路美徳
長野税理士法人
(長野市)

全体的には景気回復感はないが、経営者のやり方しだいで収益をあげているところとそうでないところがあり、二極化している。

あえて業種別にくくるとしたら、①工作機械のメーカー ②インターネット関連企業 ③シニア向け用品や健康関連商品の販売業 ④介護ビジネスが好況だ。

とくにシニア向け店舗は、最近になって、顧客層を60歳以上の退職者とその配偶者に絞り、それに合わせた品揃えが受けた。

地域経済活性化の対策としては、まずは企業誘致だ。ソフト開発などは東京でなくてもできる業種だ。家賃が高くストレスの多い大都会より、職場環境として適しているのではないだろうか。これからはゲームソフトの開発なども面白い。

また、自治体が中心になって地場産業で町を活性化しようというところもある。一例をあげると長野市の松代町で、地鶏を飼育している。このほか、信州新町では臭みのない肉がとれる品種の羊を飼育し、町内のドライブインで新メニューに加えている。企業誘致と地域発の地場産業の育成、このふたつが雇用を生み、地域を元気にすると思う。